

学校通信

学校生活における大切なお知らせです

2016年3月20日発行 第155号 (毎月1回発行)

| | |
|--------------------|---------|
| ●今月のメッセージ | P2 |
| ●今月のトピック | P3 |
| ●スケジュール (3/22~5/9) | P4 |
| ●教務からのお知らせ | P5~P6 |
| ●事務室からのお知らせ | P7~P8 |
| ●進路支援からのお知らせ | P9 |
| ●生徒支援からのお知らせ | P10~P11 |
| ●今月の聖句 | P12 |

<同封物>

- 「学校評価アンケートのお願い」(白) および「学校評価アンケート」<生徒用(白)・保護者用(青)>
- 『学習アシストルーム』のご案内(A4黄片面)<全員>
- 「ボランティア活動」のご案内(A4桃片面)<全員>
- 「私たちが拓く日本の未来」(総務省・文部科学省発行冊子)<全員>

- 16年度前期講座登録は、3/22(火)・23(水)・24(木)・25日(金)です。
(年次別。担任と予約した日時。)
- 新年度のホームルームは、4月15日(金)です。

YMCA学院高等学校

TEL 06(6779)5690 FAX 06(6779)1831 <http://www.ymcagakuin.ac.jp>

「学校通信」はバックナンバーを含め、本校のホームページで閲覧できます。
「教員ブログ」も更新中です。本校のホームページにてご覧ください。

今月のメッセージ



そつぎょう たびだ とも い ひと おく だ
卒業、そして旅立ち。「共に生きる人」を送り出すために。

ひ き こもごもの3月。先日の卒業礼拝では卒業生の魂の声を聴きました。不安で転入してきた学院高校、ここで過ごした日々の中でどれほど成長できたか、自分の言葉で語ってくれました。

その姿をお祖母さまが誇らしげに何枚も写真を撮られていました。今までのご苦労や心配、その生徒やご家族の積み重ねてこられた日々を思いを馳せた時間でした。

ある卒業生は言いました。「私はダメ人間だと思っていた。生きていく価値がないとずっと思っていた。でもYMCAに来て必要とされた。愛されていることに気がついた」どの生徒も、そう思っただけで卒業することを心から願っています。

卒業礼拝では、宗教科の福島牧師先生が「みんなは辛い思いをしてきた。そのことでみんなは人を救える人間になっている」とおっしゃいました。聖書的な言い方になりますが、弱く小さくされた人と思われた生徒が、人を救う人、人に寄り添える人になったのです。これはYMCAの願いそのものです。グローバル人材の育成、と言われていますが、YMCAは「弱い人に寄り添い、人と共に生きる地球的視点に立った人を育てる」と考えています。卒業生がまさにその人になっているのです。

このたびの指導要領の改訂は「主体性・協働・人間性」「社会・世界と関わり、より良い人生を送る」ということが重視され、今まで学力中心だった日本の教育の考え方が大きな変化を見せ始めました。YMCAがこれまで大切にしていきたことは、まさにこの内容です。

ただ「社会・世界と関わり、より良い人生を送る」にはもう一歩踏み込んで、社会に対して何ができるか、それを考える人たちに育みたいと考えています。YMCAには多様性を認める、人と共に生きる、そこはずっと変わらないキリスト教主義の学校としての価値観があります。

「あなたには力がある。あなたには可能性がある。」と信じて接していると、子どもはそれに応えてくれるのです。可能性を十分引き出した卒業生の旅立ちを心から祝福いたします。

(副校長 鍛治田千文)

——— 本校の卒業要件 ———

- ① 高校に3年以上在学すること。
- ② 74単位以上修得すること。
- ③ 必修科目は履修認定を得ること。
- ④ 「総合的な学習の時間」を3単位以上修得すること。
- ⑤ 特別活動に30時間以上参加すること。

(『2015年度版 学務の手引き』より抜粋)

今月のトピック

●学校ホームページの「LINE@」開設と「Facebook」のお知らせ

YMCA 学院高校の LINE ● はじめました！



今すぐ登録してね！
@ztt9421o



「YMCA 学院高校 Facebook」で検索！随時更新中！

是非チェックしてね！！！！



<http://www.ymcagakuin.ac.jp/>

あなたが変わる新クラス！！

この1年、在校生の声、YMCA学院高校を訪問して下さる生徒の声、保護者の声をしっかり聴いてまいりました。そして、生徒の声に応えたい！夢を叶えるお手伝いをしたい！自分のことが好きになってほしい！たくさんの出会いと、人生が変わるような経験を提供したい、「楽しい高校生活」送る応援をしたい！そんな願いを形にしました。これから申し込みたい人は、16年度前期の講座登録時に担任に申し出てください。

希望者の多いクラス順：

アドバンスト → ウェルネス=グローバル → マイスペ+

スケジュール(3/22~5/9)

| 日 | 曜 | 行事予定 |
|------|---|---|
| 3 月 | | |
| 3/22 | 火 | 特別活動：16年度前期講座登録（現2・3年次の予約者） |
| 3/23 | 水 | 特別活動：16年度前期講座登録（現2・3年次の予約者） |
| 3/24 | 木 | 特別活動：16年度前期講座登録（現1年次の予約者） |
| 3/25 | 金 | 特別活動：16年度前期講座登録（現1年次の予約者） |
| 3/26 | 土 | |
| 3/27 | 日 | |
| 3/28 | 月 | |
| 3/29 | 火 | |
| 3/30 | 水 | |
| 3/31 | 木 | |
| 4 月 | | |
| 4/1 | 金 | |
| 2 | 土 | |
| 3 | 日 | |
| 4 | 月 | |
| 5 | 火 | |
| 6 | 水 | |
| 7 | 木 | |
| 8 | 金 | |
| 9 | 土 | |
| 10 | 日 | |
| 11 | 月 | |
| 12 | 火 | |
| 13 | 水 | |
| 14 | 木 | |
| 15 | 金 | 特別活動：在校生ホームルーム、高認ガイダンス |
| 16 | 土 | |
| 17 | 日 | |
| 18 | 月 | |
| 19 | 火 | |
| 20 | 水 | 特別活動：16年度生ホームルーム、〔学校通信〕発送 16年度前期バーコードシール・個人時間割ほか発送 |
| 21 | 木 | |
| 22 | 金 | |
| 23 | 土 | |
| 24 | 日 | |
| 25 | 月 | |
| 26 | 火 | 「グローバル」「ウエルネス」「アドバンスト」「マイスペ＋」クラス開始 |
| 27 | 水 | |
| 28 | 木 | |
| 29 | 金 | （昭和の日） |
| 30 | 土 | |
| 5 月 | | |
| 5/1 | 日 | |
| 5/2 | 月 | |
| 5/3 | 火 | （憲法記念日） |
| 5/4 | 水 | （みどりの日） |
| 5/5 | 木 | （こどもの日） |
| 5/6 | 金 | |
| 5/7 | 土 | |
| 5/8 | 日 | |
| 5/9 | 月 | 16年度前期スクーリング開始 |

4/29~5/5は
ゴールデンウィーク
学校休業日です。

教務からのお知らせ

【前期の講座登録】 3月22日（火）～25日（金）（担任と予約した日時）

■2016年度前期の講座登録は、3月18日（金）のホームルームで予約した、個人別の日時に、生徒ご本人と担任が相談しながら行います。

■講座登録では、事前に「開講講座の概要」で講座内容をしっかり確認し、開講される講座の中から自分が学習しようと思うものを選び、登録します。

■3月18日（金）のホームルームを欠席した人は、必ず担任に連絡して面談日時を決めてください。

また、予定日時に来れなかった人も、必ず連絡して予約し直してください。

どうしても本人が不都合な事情があれば、登録は保護者が代行できます。

■日程 現3年次生・現2年次生：3月22日（火）・23日（水）

現1年次生：3月24日（木）・25日（金）

ただし、2016年度の施設設備費が3月16日（水）までに未納入の人は、この期間内に講座登録はできません。

■3月17日（木）以降に施設設備費を納入された場合は、担任に連絡の上、講座登録の日程を決めてください。

■講座登録が遅れると、希望する講座の登録ができなくなったり、受講開始が遅れる場合もあります。

講座登録をしないと、前期の授業を受けることはできませんのでこちらもご注意ください。

また、本校の在籍期間として認められませんのでご注意ください。

（在籍期間認定のために、各期に最低2単位分の講座登録が必要です。）

講座登録に際しては、

- ①必修科目を優先させる
- ②各自の関心・実力・進路など十分に考慮する
- ③各期登録単位数の上限は20単位だが、標準で7講座14単位程度とする
- ④卒業予定者は、修得できない講座がある場合を考慮し、登録単位数を少し多めにする
（すでに修得した単位と合わせて、総計が9月卒業予定者は74単位、
2017年3月卒業予定者は54単位^{（注）}を、それぞれ上まわるように登録する）

などの点に注意してください。

^{（注）} 大学等の受験のために、本校の「推薦書」を発行するにあたっての条件になります。

【16年度の「誓約書」提出のお願い】

■16年度の「誓約書」を、保護者宛に3月18日（金）にお送りしています。

ご確認の上、署名・捺印をいただき、前期講座登録時に、担任までご提出ください。

■講座登録時に提出されない場合は、3月31日（木）までに、学校宛郵送してください。

【在校生の第1回ホームルーム】 4月15日（金）

■在校生のホームルームを4月15日（金）に行います。

新年度を迎え、ホームルームクラスが変わります。

新ホームルームクラスは、16年度前期の講座登録時に掲示いたします。

また16年度の生徒証に新しいHRを記載しています。

実施教室も当日掲示します。（特別活動1時間）

| 時 限 | 年 次 |
|-------------------|---|
| 2 限目（10：30～11：20） | 新2年次生（現1A 1B 1L 1M 1N） |
| 3 限目（11：30～12：20） | 新3年次生（現2A 2B 2C 2D 2M） および卒業しなかった現3年次生 |

（注）本校は学年制でないので、3年次になっても、そのまま来年3月に卒業できるわけではありません。単位数などの卒業要件を満たす必要があります。

【前期レポート集・時間割・教科書の発送】

■登録講座にもとづき、皆さんの届け出住所あてにレポート集と生徒別時間割、および教科書を送ります。

○教科書とレポート集は、4月下旬に本校指定の業者（教科書販売会社）より宅配便で送られますが、
入荷の都合や年次順に発送作業をするなどの理由で、正確な時期はお知らせできませんが、
おそくとも4月末までには配達される見込みです。

○生徒別時間割・バーコードシール・一部のレポート集は、4月20日（水）頃に本校から郵送する予定です。

※レポートや教科書が届かない場合も、スクーリングには出席してください。

【前期のスクーリング開始】 5月9日（月）より開始

■スクーリングは、講座登録で決まった各自の時間割にもとづいて、5月9日（月）より始まります。

4月20日頃送付する「生徒別時間割」で確認の上、各自が登録した講座の最初の曜日・時限から出席してください。

【芸術科・家庭科の作品持ち帰り】

■美術・書道・家庭科などで作成した作品は、講座登録やホームルームで来校した際に持ち帰ってください。引き取りのない場合、4月末をもって処分しますので、ご了承ください。

事務室からのお知らせ

【2016年度生徒証明書について】

- 「2016年度生徒証明書」は、2016年度前期講座登録時に担任よりお渡しします。

写真の提出がまだの生徒は、写真提出用紙（送付済み）に注意事項を確認のうえ写真（証明用・背景なし・タテ4cm×ヨコ3cm・1枚）を貼り付け、至急学校事務室へ提出してください。

- 生徒証明書の発行は、写真の提出から3日後になります。
- 現在使用中の「2015年度生徒証明書」は有効期限が平成28年3月31日となっていますので期限後は速やかに学校に返却してください。

【住所等変更手続きについて】

- 現在学校に届けている住所や電話番号などが変更になった場合は、速やかに「各種変更届」に記入・押印のうえ事務室へ提出してください。併せて生徒証明書を作り変えますので写真をご用意ください。また、郵便物が転送されるように郵便局に転居届を出してください。
- 通学経路が変わる場合は、「通学割引証申請カード」を変更しますのであわせて提出してください。（即日発行はできません。）
- 届出用紙は事務室にある他、『学務の手引き 2015年度版』の巻末にもあります。コピーして使用してください。

【2016年度前期学費の納入について】

- 2016年度前期学費納入案内

①旧制度（2014年度以前の新入学生・編入学生）の就学支援金対象外の方並びに旧制度（2014年度以前の新入学生・編入学生）の就学支援金基礎額のみ対象の方

・5月中旬に納入案内を発送させていただきます。

* 納入期限：5月末

・納入期限の延期（延納）または分割納入を希望される場合の手続き

* 書類提出期限：5月末

※詳細は送付する納入案内に記載しております。

②旧制度（2014年度以前の新入学生・編入学生）の就学支援金加算対象の方並びに新制度（2014年度以降の新入学生・編入学生）の方全員

・7月中旬に納入案内を発送させていただきます。

* 納入期限：7月末

※詳細は、次項の【高等学校就学支援金について】にてご確認ください。

【高等学校等就学支援金について（対象者のみ）】

■就学支援金の現時点での状況や今後の手続きについては、すでに対象者には「国の私立高等学校等就学支援金についてのお知らせ」を保護者の方に送っていますので、そちらでご確認ください。

■2016年度前期学費納入案内については、前期講座登録後に認定された「支援金」を差し引いた金額でご案内いたします。

①旧制度（2014年度以前の新生入学生・編入学生）の就学支援金加算申請が認定されている方

※第1期分（6月まで分）の加算が認定されています。

※第2期以降分（7月以降分）の加算申請につきましては、再度平成28年度の所得の証明書等確認書類の提出が必要となります。

現在の加算対象の方には5月に提出のご案内をいたします。（提出期限：6月末）。

新たに加算申請を予定されている方は手続きが必要です。

5月以降に申請書類をお渡しいたしますので事務室へお申し出ください。

②新制度対象（2014年度以降の新生入学生・編入学生）の方

※6月に再度収入の届出が必要となります。5月に提出のご案内をいたします。

（提出期限：6月末）

■前期講座登録を行わない場合は、就学支援金はありませんが、対象月数が減ってしまいますので「休学」の手続きと同時に支援金の「停止」手続きを行ってください。

【ゴールデンウィーク学校休業日について】

■ゴールデンウィーク学校休業日（4/29～5/5）は、事務取扱いがありません。

遠隔地への旅行などに必要な学割申請については、4/26(火)までに申請のあった分については4/28(木)に発行できます。即日発行はできませんので注意してください。

進路支援からのお知らせ

【進路の方向を定めよう】

■ 1, 2年次生の皆さんは、新年度にむけてしっかり準備を進めてください。特に来年度後期に卒業を予定している人は、卒業後の進路について本格的に考える時期にさしかかります。

進学（大学・短大・専門学校）か就職か、また専攻分野や職種について、遅くとも7月頃までには方向を出すようにしてください。

わからないことがあれば、早めに担任に問い合わせてください。

■ 5月20日（金）に実施する予定の進路ガイダンス（職業体験ガイダンス、特別活動認定）に出席して、職業理解を深めるようにしましょう。

【講座登録時のアドバイス】

■ 進路のことや入試科目のことをよく考え、必要な科目（講座）を選択するようにしてください。

■ 推薦入試を受けるには、各大学・短大・専門学校が示す成績の基準を上回るとともに、本校の推薦基準を満たす必要があります。本校では、**公募制推薦については卒業予定年度の前期終了時点で54単位（高認などを含む）以上、指定校推薦については60単位（高認などを含む）以上修得していることが必要です。**計画的に単位修得を進めてください。なお、指定校推薦の場合、『校内生活上の決まり』の『注意』を2回以上受けていないことも条件となります。

【3階『進路コーナー』を活用しよう】

■ 進路（進学・就職）に関する情報は3階『進路コーナー』に掲示しています。また『進路コーナー』に置いている情報誌や案内書、募集要項などは自由に持ち帰ることができますので、活用してください。なお、進路に関する情報は1階職員室カウンターでも見ることができます。

【『オープンキャンパス』に参加しよう】

■ 大学・短大・専門学校への進学希望者は、『オープンキャンパス（学校見学会）』に積極的に参加し、自分の目で各学校の特色を確認しましょう。日程などの情報は3階『進路コーナー』にも掲示しています。

■ **『オープンキャンパス』に参加すると特別活動2時間（上限は10時間）が認定されます。**

1階職員室カウンターで「参加報告書」を受け取り、必要事項を記入して提出してください。

その際、当日配布されたプリントや担当者の名刺など、参加の証明になるものを貼ってください。

【進路相談について】

■ 本校では、進路相談につきましては、年間を通じてホームルーム担任と^{ずいじ}随時行っています。ご希望の方は面談日時をホームルーム担任と調整してください。

【『保護者とともに進路を考える会』】

■ 5月28日（土）に卒業年次生の保護者の皆さまを対象に『保護者とともに進路を考える会』を実施します。午前と午後とで、四年制大学・専門学校・就職に関するガイダンスを予定しています。詳しい時間・出欠票などについては後日送付しますので、ご参加いただきますようよろしくお願いいたします。

生徒支援からのお知らせ

【学校生活を快適に過ごすために】

後期の単位認定テスト終了から約1ヵ月がたち、4月より新しい年度が始まります。新しい季節の始まりは、気持ちを切り替えたり、新たに何かを始めたりする良い機会ですので、みなさんいろいろなことにチャレンジしてほしいと思います。

さて、学校周辺は地域の方の生活の場です。今後も清潔に保っていくようにしたいものです。

今後、ホームルームや前期の講座登録などのために来校する機会が増えると思いますが、引き続きマナーを守り、楽しく学校生活を送れるようにしてください。

『2016年度学務の手引き』の「学校生活上の決まり」(P.41)記載内容を含め、以下のような行為は絶対にしないでください(スクーリングがない期間中も、スクーリング期間中と同じです)。

- 1) 学校内(教室・廊下・トイレなど)と学校周辺での喫煙
- 2) 自動車・バイク・原付での通学
- 3) 他の生徒を中傷する行為・暴力行為
- 4) 学校の施設・設備をこわすこと
- 5) ごみをところかまわず捨てること

【『2016年度学務の手引き』について】

■『学務の手引き』は、毎年、変更がありますので必ずお読みください。

■以前、様々なルール違反により注意・処分を受けた人は、違反行為を繰り返すことによって、より重い処分を受けることとなります。今一度自分を見つめなおし、気持ちを引き締めましょう。年度が変わっても、注意・処分を受けた回数が0に戻ることはありません。

ちょっとした心がけで、ルール違反は防げるものです。

健全な学校生活を送れるよう、生徒のみなさん一人一人の心がけを期待しています。

『2016年度学務の手引き』でもう一度、「学校生活上の決まり」について確認しておいてください。

◆学習アシストルーム

■「学習アシストルーム」は、5月10日(火)より始まります。

希望する人は、同封の申込書で申込みの上、筆記用具のほか、それぞれで必要なレポートと、教科書を持ってきてください。

■「学習アシストルーム」は、通常スクーリング期間の火・木曜日(13:00~15:00)に開室します。

利用するには事前に同封の『学習アシストルーム』の申込書で申込みをしてください。

各期で申込みが必要です。

◆高等学校卒業程度認定試験（高認）^{こうにん}について

■『高等学校卒業程度認定試験(高認)』の受験案内を高校で取り寄せますので、必要な生徒は、1F 職員室カウンターまで取りに来てください。

■今年度第1回の試験は、出願締切日が5月10日(火)(消印有効)です。

■出願上の注意や受験上の注意などについての『高認受験ガイダンス』を4月15日(金)12:20より行います。高認受験予定者は出席してください(教室は当日掲示します)。
なお、出願時に「住民票」が必要ですので、早めに準備しておいてください。
(外国籍の方も同様です)

◆保健室からのお知らせ

【2016年度前期スクーリング開始までの健康管理について】

○温度差に注意！

朝夕と昼間の気温差、室外と室内の温度や湿度の差で、体調を崩しやすい時期です。調節しやすい服を選びましょう。

○生活リズムを整える

食事や睡眠が十分ではないと栄養が補給できず、疲労も回復されないので、免疫力が低下します。適度に水分も補給しましょう。

○不調を感じたら医療機関へ

早期に対応することで重症化せず、早く治りやすくなります。自己判断はなるべくしない方が良いでしょう。スクーリングの開始前に、健康面で気になることがある場合は、担任又は保健室へ連絡してください。

◆カウンセリングスペースからのお知らせ

《カウンセリング》

※2015年度後期の開室は終了しました。

※2016年度の開室については、4月以降の学校通信で連絡します。

◆フィジカルサポートスペースからのお知らせ

スクーリング期間中は
何度でも無料です!

フィジカルサポートでは、基礎体力の向上や運動不足の解消を目指す生徒有酸素運動、マシントレーニングなどを下記の曜日に実施します。

予定は、職員室カウンターに掲示します。
(実施目安は一人につき、1時間～2時間程度)

—参加する際のルール—

運動のできる服装(ジャージなどが望ましい)、水分、体育館用シューズを必ず準備してください。

利用希望者は、職員室もしくは電話にて申し込み受け付けしています。

参加当日は、直接4Fのマシナールームには行かずに、職員室まで来てください。

※人数に余裕があれば当日申し込み可能です。利用は生徒のみです。

お問い合わせなどは、担当(中尾)までご連絡ください。



こ ん げ つ せ い く 今 月 の 聖 句



せいしゅん ひびにこそ、お前の創造主に心を留めよ

ことば しょう せつ
コヘレトの言葉 12章1節

せんじつむすめ こうこう そつぎょうしき ひとり せんせい そつぎょうせい む きょう
先日 娘の高校の卒業式でのこと、一人の先生が卒業生に向かって「今日あなた
たちはここを卒業し、選挙権も得るわけですが、それであなたたちは大人ですか？」
と問われたのです。その先生は続けてこうもおっしゃいました。「私 は大人ではあり
ません。ここに並んでおられる先生方もそうでしょう」と。中には「いいえ、私は
あなたと違ってちゃんとした大人ですよ」と笑いながら反論された先生もいました。

しかし、先の発言をした先生は「私が言っているのは、人間はある日を境にして
とつぜんおとなになるのか？ということです。私 は人間は一生大人にはなれないと思う」
とおっしゃったのです。「なぜなら、ここにいる我々も日々悩んでいます。だから、
人間って一生かけて大人になることを目指して歩いていく者ではないでしょうか」と。

娘たちはその言葉にホッとしたようでした。いきなり明日から大人の世界に放り
込まれると思ってプレッシャーを感じていたからでしょう。私はこの先生にととても
感謝しました。

私たちは時々思い出さなければなりません。私たちの限界と、弱さを。それは
後ろ向きな、消極的なことでは決してありません。地に足をつけ、人として生きる
ということは、私 が色んなものを抱えているように、相手も悩みや苦しみを持っ
ているということに気づくことなのですから。



にほん れんめい おかきょうかい さかた ひろし ぼくし
(日本バプテスト連盟 シオンの丘教会 坂田 浩 牧師より)

みなみ きょういんかい
南 YMCA「キリスト教委員会」